

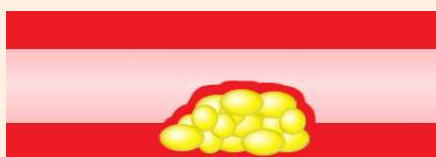
**動脈硬化
発症の仕組み**



酸化LDLコレステロールが血管壁に入る。



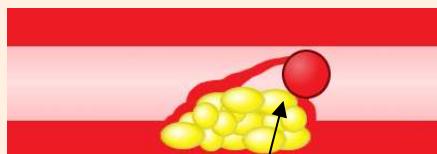
マクロファージが酸化LDLコレステロールを食べる。



プラークが形成される。



プラークが固まり、動脈硬化が完成する。



プラークが破れると、血栓が形成される。

内科・循環器内科・漢方外来・リハビリテーション

森 医 院 <http://www.moriiin.com/>

〒500-8322 岐阜県岐阜市香取町 3-48 TEL : 058-251-4452

院長のブログ

<http://blog.livedoor.jp/moriiin5656/>

ケータイ版はこちら→



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
午後 4:00~ 7:00	○	○	○	/	○	/	/

森医院通信

やまいのはなし

2013年10月号

Pickup!

脂質異常症を効果的に改善させる漢方薬はないので、

今回はEPA、DHAを紹介します。

EPA(エイコサペンタエン酸)、DHA(ドコサヘキサエン酸)は青魚の油に含まれている成分です。これらは、肝臓での中性脂肪の合成を抑制し、血液中での中性脂肪の代謝を促進することにより中性脂肪を低下させます。

また、DHAは脳に多く含まれ、脳神経細胞の機能を維持する作用があります。だから“魚を食べると頭が良くなる”という歌ができるわけです。

その他、EPA、DHAは血栓を予防する働きもあります。厚生労働省はEPA、DHAを一日1g摂取することを勧めています。これはイワシ2匹・アジやサンマ1匹相当ですから、毎日摂取することは難しいです。

そこで、薬として摂取することになるのですが、現在はEPA製剤はエパデール®、EPA・DHA合剤はロトリガ®の2種が発売されており、高中性脂肪血症に適応があります。